



北町小だより

練馬区立北町小学校

校長 瀧嶋 克己

<http://www.kitamachi-e.nerima-ky.ed.jp/>

令和5年度 学校評価にかかわるアンケートの結果のお知らせ

日頃より、本校の教育活動にご理解、ご協力を賜りありがとうございます。

さて、2学期の終わりに実施いたしました学校評価アンケートの集計が下記のとおりまとめましたのでお知らせいたします。保護者の皆様からの貴重なご意見は教職員で共有いたしました。また、学校評議員の皆様からは、アンケート結果や公開授業の観察をもとにご意見を頂戴しました。

これらを次年度の学校教育の改善の貴重な資料とさせていただきます。ありがとうございました。

令和5年度 北町小学校の教育活動についてアンケート

■実施時期令和5年11月27日（月）～12月7日（木）

■対象 保護者 グーグルフォームにて回答（回答数284）

児 童 紙面（担任以外が集計）

教 員 経営計画に沿った取組と成果（紙面）

■回答

Aとてもそう思う Bだいたいそう思う Cあまりそう思わない Dそう思わない Eわからない

1 各設問について 結果と考察

※結果については、AとBを合計した数字を肯定的な数字として捉えました。（％）

(1)人権を尊重する教育および豊かな心の育成

(児童)よいところみつけ名人になろう。まわりの友だちや自分のよいところをみつけている。

	A	B	C	D	E
児 童	23.7	42.5	19.8	6.9	7.0

(保護者)学校では、児童が協力し合ったり、仲よくかわったりできるようにするなど努めている。

(児童)友達と協力して学習したり、仲よく遊んだりしている。

	A	B	C	D	E
保護者	23.2	63.4	6.7	0.7	6.0
児 童	65.3	24.3	5.4	3.1	3.1

(児童)先生は、がんばっているところを褒めてくれたり、困っている時にアドバイスをしてくれたりしている。

	A	B	C	D	E
児 童	50.4	32.1	6.6	3.8	7.0

(教員)「よいところみつけ名人になろう」を年間通して取組、自己肯定感を高める。

	A	B	C	D	E
取 組	44.1	47.1	8.8	0	0
成 果	11.8	64.7	23.5	0	0

(教員)特別活動の充実を図り、人とのかかわりを豊かにするために取り組んでいる。

	A	B	C	D	E
取 組	35.3	61.8	2.9	0	0
成 果	23.5	73.5	2.9	0	0

【結果と考察】

「よいところ見つけ名人になろう」児童の肯定的な数字は 66.2％(73.2％)(昨年度の数字)です。相手や自分のよさに目を向けるよう、さらに声掛けをしていきます。 次のページ⇒

「友達と協力して学習したり、仲よく遊んだりしている。」児童の肯定的な数字は、89.6%(92.5%)と高い数字を示しています。本校のよさでもあります。けんかをしたり、トラブルがあったりしますが、多くの児童が協力や仲よくすることを大事にしていることがわかります。

「先生は、がんばっているところを褒めてくれたり、困っている時にアドバイスをしてくれたりする。」児童の肯定的な数字は、82.5%(84.1%)でした。学年によって大きく差が見られた項目です。友達に対する人権侵害や授業を妨害する行為があると褒める事よりも指導することの方を優先してしまうことがありました。学校では、児童のがんばりを褒めたり、困っている時にアドバイスや見守りをしたりできるようにしていきます。それには、ご家庭のご協力が不可欠です。

(2)楽しい学校生活を過ごしている

(保護者) お子さんは、学校生活を楽しく過ごしている。					
(児童)学校は、楽しい。					
	A	B	C	D	E
保護者	34.2	57.7	6.3	1.1	0.7
児 童	56.2	26.5	7.3	5.3	5.6

(児童)きまりやルールを守って安全に生活している。					
	A	B	C	D	E
児 童	48.6	35.7	9.2	2.6	3.5

(3)確かな学力の定着

(保護者) 学校では、児童が自ら学ぶ力を身に付けるように指導している。					
(児童)わからないことやできないことがあっても、あきらめずに学習している。					
	A	B	C	D	E
保護者	22.5	58.1	9.9	0.7	8.8
児 童	40.8	37.3	13.6	4.0	4.0

(保護者)家庭では、お子さんが自ら進んで学習している。(宿題や授業の予習・復習、習い事などを含みます。)					
	A	B	C	D	E
保護者	17.3	51.1	22.9	8.1	0.7

(児童)タブレットの使い方がわかり、自分で学習をすることができる。					
	A	B	C	D	E
児 童	60.0	26.5	7.8	3.1	3.2

(教員)日頃から児童の心の変化を読み取り、いじめ・不登校の未然防止。早期対応に努める。					
	A	B	C	D	E
取 組	29.4	70.6	0	0	0
成 果	11.8	88.2	0	0	0

【結果と考察】

「学校は楽しい」児童の肯定的な数字は82.7%(85.5%)でした。保護者の肯定的な数字は、91.9%と高い数字になりました。

「きまりやルールを守って安全に生活している」児童の肯定的な数字は、84.3%でした。

児童が「楽しい学校生活」を送れるよう、教員はいじめや不登校対応にも力を入れています。今後ともご家庭と連携を図っていきます。

(教員)児童の実態に合わせ授業を構想し、主体的、対話的で深い学びにつながる授業改善を行う。					
	A	B	C	D	E
取 組	32.4	64.7	2.9	0	0
成 果	14.7	67.6	17.6	0	0

(教員)ICT等を活用し、児童の意欲を引き出す工夫のある授業をしている。					
	A	B	C	D	E
取 組	32.4	44.1	20.6	2.9	0
成 果	23.5	55.9	20.6	0	0

【結果と考察】

「わからないことやできないことがあっても、あきらめずに学習している。」次のページ⇒

児童の肯定的な数字は、78.1%(78.0%)でした。本校では、校内研究で「主体的に学ぶ児童の育成」を研究テーマに掲げ今年度スタートしました。画一的な指導から、児童主体となるよう授業改善を進めています。忘れ物などで準備が整わず、学習に集中できないことも見られました。ご家庭の協力も必要となります。次年度は、児童の肯定的な数字が80%を超えるようにさらに改善を進めます。

「タブレットの使い方がわかり、自分で学習することができる」児童の肯定的な数字は、86.5%でした。さらに、タブレットを授業の中で効果的に使用していきます。また、SNS ルールが守られず、相手の気持ちを傷つけてしまう事案もありました。学校・家庭で連携して進めていきます。

(4)健やかな体の育成

(保護者) 学校では、外で元気に遊んだり、運動したりする児童を育てている。

(児童)外で元気に遊んだり、進んで運動したりしている。

	A	B	C	D	E
保護者	30.3	58.1	6.3	0.7	4.6
児童	55.3	24.0	10.7	6.0	4.2

【結果と考察】

「外で元気に遊んだり、進んで運動したりしている。」児童の肯定的な数字は79.3%(82.9%)でした。保護者の肯定的な数字は、88.4%でした。なわとび月間などの体育的活動や教科の体育学習の充実、これからも努めていきます。

けが等の事故や食物アレルギーのある児童の誤食、感染拡大防止にも努めていきます。

(教員)なわとびや持久走月間等の体育的活動や体育行事の充実を図る。

	A	B	C	D	E
取組	9.1	78.8	12.1	0	0
成果	9.1	57.6	33.3	0	0

(教員)どの子も進んで運動に取り組めるよう体育学習を工夫する。

	A	B	C	D	E
取組	26.5	67.6	5.9	0	0
成果	23.5	61.8	14.7	0	0

(教員)安全面や食物アレルギー対応、感染拡大防止等を意識して指導に臨んでいる。

	A	B	C	D	E
取組	50.0	47.1	2.9	0	0
成果	17.6	73.5	8.8	0	0

(5)家庭および地域社会に開かれた学校

(保護者)学校では、各種のたより、ホームページ等で学校の教育活動を分かりやすく伝えている。

	A	B	C	D	E
保護者	26.4	61.3	8.5	3.2	0.7

(教員)学校だより等の通信。毎日のHPの更新。効果的な学校連絡メールの活用など学校の様子を伝える。

	A	B	C	D	E
取組	17.6	58.8	20.6	2.9	0
成果	5.9	70.6	23.5	0	0

【結果と考察】

「学校では、各種のたより、ホームページ等で学校の教育活動を分かりやすく伝えている。」保護者の皆様の肯定的な数字は、87.7%(85.4%)でした。次年度は、学校連絡メールに替わり、お伝えのとおり「sigfy」でメール等をお伝えしていきます。4月から活用できますよう早めの準備をお願いします。

数字には反映されていませんが、地域社会に開かれた学校では、6年生のインターンシップを実施し、PTAや保護者の方々、地域の皆様方にご協力いただきありがとうございました。

2 学校評議員の皆様からのご意見

- ・ あいさつは、登校班でも課題と感じる。コロナ禍では、話をしてはいけないということが経験の中で残っているのかもしれない。積極的の学校でも声かけをしていくとよいと思う。
- ・ 社会科の授業を見学していると沖縄戦の動画を見ていた。昔は教科書や資料集であったが、今は電子黒板を有効に活用するなど児童の興味関心を引き出した授業がされている。
- ・ 20年間子供たちの様子を見ているが、以前は授業中に走り回る子がいたが、今は椅子にちゃんと座って話を聞いている。
- ・ 平日、登下校の様子を家の近くで見守るが、特に帰りに鬼ごっこをしたり、大声を出したりしている。交通安全の学童擁護員さんが注意しても聞かない。気を付けさせたい。

3 保護者の皆様からのご意見

ご意見には、多くの励ましや応援のお言葉をいただきました。ありがとうございます。教員のこれからの励みになります。また、ご意見や質問もありがとうございました。保護者の皆様からのご意見については、電子データで掲示板に貼り付け教職員間で情報を共有させていただきました。一部ですが掲載させていただきます。

(1) 学校行事や学校公開の参加ルールについて

○以前に比べて保護者のルールがしっかり浸透しているように感じます。学校行事の際、自転車での来校禁止のルールを守らない方が多く、とても気になっていました。お互いに譲り合って気持ちよく学校行事に参加できる雰囲気がとても良いです。

学校から⇒多くの皆様のご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。

(2) 暴言や暴力、言葉遣い、授業態度について

●授業中は、ずっとうるさく、暴れる子、机の上に乗って渡り歩く子、暴力など。もう少し落ち着いた環境を望んでいます。元々得意でない勉強が、もっと集中できておらず、学校に行きたくない。と言う日が増えました。学校の登校時間になると頭が痛いと言えことも増えました。先生方が子供に注意を払っていただいていることは、重々承知です。もう少し、そういう子たちの保護者へ呼びかけることは難しいのでしょうか？

●クラスメイトの子(男の子)から暴言を時々受けたりして気分が悪くなってしまうことがあるようなので、学校でも言葉遣いに気を付けてもらえるように注意していただきたいです。 など

学校から⇒児童が安全で安心して学校に通えるよう引き続き、児童への指導や保護者の方との面談を実施していきます。ご家庭のご協力をお願いします。今後とも別室でのクールダウン等も実施していきます。

(3) 家庭数のプリントについて

●兄弟姉妹がいる場合、家庭数のプリントについて下の子が持ってくるようになっていたと思いますが、上の子に持たせてもらいたい。なぜ下の子が持ってくるようになっていたのか理由を教えてもらいたい。

学校から⇒家庭数の認識は、上の学年にはありますが、1年生には、理解が難しいです。家庭数だから「持って帰る。」「持って帰らない。」ということで時間がかかってしまいます。また、間違いも起きます。そのため、1年生(双子を除き)は、すべての配布物を持ち帰ります。下の子がいない場合は、上の学年の児童が持ち帰るようにしています。説明不足で申し訳ありませんでした。